

サーバーデータセンター

IDCフロンティア東京有明データセンター

大地震などの大規模災害時にも万全の防災機能



広域の防災拠点として安全性の高い臨海副都心エリア（東京都都市整備局「危険度特性評価AAA級」）に立地。大地震などの大規模災害時にも対応する万全の防災機能を備えたデータセンターです。システムの物理的なセキュリティ対策だけでなく、「ISMS適合性評価制度」認証ならびに情報セキュリティの認証基準「BS7799」取得済みの運用監視体制をベースに、高品質・高信頼なマネージドサービスを提供します。

※地域危険度特性評価とは三つの危険度のランクの組み合わせにより、その地区の危険度特性を表します。3つのローマ字の並び順は、建物倒壊危険度、火災危険度、非難危険度の順となります。

ファシリティ

万が一の大震災に備え、新耐震設計法に基づいて設計されており、震度7レベルの地震にも耐えられる構造となっています。

消火システムは先進のガス・ベース防火システムを使用しています。



電源

ビル給電は、信頼性の高い「3スポットネットワーク給電」。各フロア1000KVAの容量をもつUPSを通じて各ラックに供給。非常用電源として、緊急切替用バッテリーおよび備蓄燃料にて連続18時間運転可能なガスタービン発電機を完備。



建築構造

新耐震設計法に準拠した震度7クラスの大地震に耐えうる強耐震構造の建物。直径13～20mの杭が63本、地下30m超の岩盤に打ち込まれています。また、臨海副都心の防災基本計画に基づき、高潮対策、液状化対策が施されています。



ラック/スペース

EIA準拠19インチ標準ラックを利用しております



サーバー保全設備



サーバー運用の監視システム

各データセンター内のNOC（ネットワークオペレーションセンター）と、レスポンスセンターによる併行システムで、24時間365日絶え間なくインターネット運用を監視しています。



多重空調管理環境

温度を一定に保ち最適な空調を保つため、中心となる冷却システムに加え、複数のユニットを備えています。



UPSバックアップ発電機

UPS（無停電電源装置）により、公衆電源に障害が発生しても妨害されない常にスムーズな電源調整を行っています。

システム故障発生時も、バックアップ発電機が代替となり停止を防ぎます。



耐震サーバーラック

サーバーを設置するための棚状のサーバーラックと、それを囲む柱状のケーシング施設を精密に設計された支柱で床下の回線と繋ぎ耐震機能を提供しています。



火災予兆検知システム

UPS（無停電電源装置）により、公衆電源に障害が発生しても妨害されない常にスムーズな電源調整を行っています。

システム故障発生時も、バックアップ発電機が代替となり停止を防ぎます。



ガススペース消火システム

不活性ガスの放出により、お客様機器に損傷を与えずに消火します。



セキュリティ設備



バイOMETリックセンサー

入退室には、掌紋を照合するバイOMETリックセンサーによる承認が必要で。



ビデオによる24時間監視システム

遠隔操作のビデオ監視システムがデータセンターとその周辺を24時間365日守ります。



常駐の警備員

24時間常駐の警備員が、データセンターへの接近者の監視、セキュリティ監視と、さまざまな事故管理を行います。

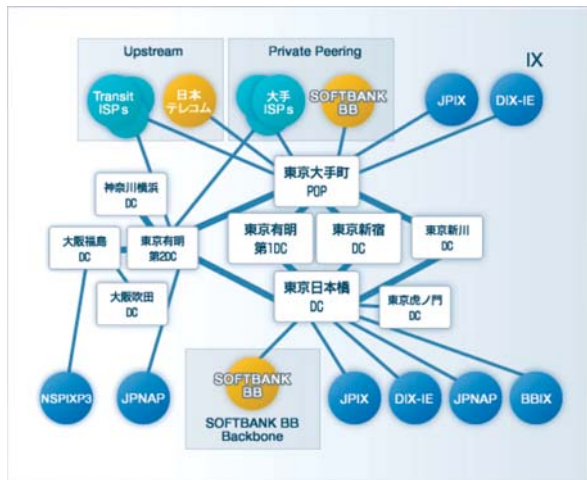


防犯警報機

緊急時には24時間体制のアラームが対応します。



バックボーン



IDCフロンティア大容量インターネットバックボーンは日本国内の主要IXおよびSPに接続されており、高速かつ安定したインターネット環境を提供しています。

ISMS

ISO/IEC27001:2005 (JIS Q 27001:2006)の認証取得

IDCフロンティアは、全ての事業所およびデータセンターにおいて、情報セキュリティの認証基準「ISO/IEC27001:2005 (JIS Q 27001:2006)」を取得しています。

初回登録日 2004年8月17日
 審査登録機関 BSIグループジャパン株式会社
 認証基準 ISO/IEC27001:2005 (JIS Q 27001:2006)
 登録範囲 データセンター事業



プライバシーマーク

当社は、個人情報マネジメントシステム－要求事項 (JISQ15001:2006) に適合し、個人情報について適切な保護措置を講じている事業者として認定されています。



認定番号：第21000604(02)
 認定機関：一般財団法人日本情報経済社会推進協会

21000604(02)

管理画面のセキュリティ

メンテナンス

日々自動プログラムによりメンテナンスを実行しております。メンテナンス時にもシステムをご利用頂けます。

データバックアップ

データベースに登録される顧客データ等は、万一ハードウェアの故障などでデータが失われた場合でも、他のバックアップディスクからの復旧が可能になっています。

アクセス管理

貴社用管理者画面には、緊急時または貴社からのご依頼があった場合を除きアクセスいたしません。又P+KACHIシステム環境へのアクセスの際にはアクセスログが残り不正な処理への監視を行っています。

外部アクセスの制限

一般からはブラウザ以外のプロトコルでのアクセスを認めない事で、不正にアクセスする機会を減らしています。また、予期しない事態に対応出来るよう、ログの監視を行っています。

※P+KACHIシステムご利用企業様の責によるもの（操作ミスや管理者用パスワードの漏洩等）による問題発生については考慮していません。また、この対策によって諸問題の発生確率を下げる努力をしておりますが、全ての問題の発生を無くす事を保証するものではありません。

ウェブサイト電子証明書 (SSL)

P+KACHI管理画面はグローバルサインのSSLを採用しております。グローバルサインのSSL電子証明書では、世界最高レベルの256bitの暗号機能を組み込んだ通信を可能にします。クレジットカード情報やID、パスワードといった他人に知られたくない情報をブラウザを介して安全にやり取りすることができ、盗聴を防ぎます。また、サーバにグローバルサインのSSL電子証明書をインストールすることにより、ユーザは特別なことをしなくても、容易に個人情報などを安全に送信することを可能にします。また、この対策により、グローバルサインSSL電子証明書を特別な設定なく使用することができる機能がサポートされております。

